

学校教育アンケート【まとめ】2022. 2. 21

1 評価方法

- ① 1年間の学校の教育活動（教育目標・学習指導・安全管理・保護者地域住民との連携・生徒指導・教育課程等）について、保護者（児童数）・全児童・教職員を対象に、年度に1回、2学期末に評価を行う。
- ② マークシートによる評価をする。
- ③ 保護者については、案内と評価シートを配付（11月30日）し、封筒に入れ回収する。（12月6日まで）
- ④ 担任は、開封せず学級ごとにまとめ、教頭へ提出する。
- ⑤ 児童については、全学年、各学級で行う。（11月30日から12月7日まで）
- ⑥ 教職員についても、11月30日から12月7日で行う。

2 集計と評価・改善案

教頭・教務・学校評価検討委員会を通して作成する。

結果は職員会議で教職員に公表し、2月に保護者向け通知とともにホームページ上で公表する。3月4日開催の第3回学校評議員会において結果説明を行い、次年度に向けた改善意見をいただき、学校運営に役立てる。

3 実施人数

柏市立逆井小 令和3年度 アンケート実施数			
クラス	在籍数(回収数)	保護者数(回収数)	教職員数(回収数)
1年	54(51)	54(49)	30(30)
2年	51(51)	51(46)	
3年	49(47)	49(41)	
4年	56(55)	56(51)	
5年	55(54)	55(54)	
6年	51(51)	51(46)	
なのはな	各学年集計へ	14(7)	
未選択	6	18	
計	316(315)	316(312)	30(30)
回収率	99. 7%	98. 7%	100. 0%

●児童アンケートより● 316人分 回収率99.7%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、先生はわかりやすい授業を行ってくれる 98.0%・そうじゃ係、日直や給食当番など自分の仕事はきちんとやっている 98.0%・交通ルールやきまりを守って過ごしている 96.0%・宿題はかならずやっている 96.0%・学校へ行くのは楽しい 93.0%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、授業中、自分から進んで発表している 71.0%・本を読むのが好きである 75.0%・テレビやゲームの時間は、親子で話し合って決めている 76.0%である。

昨年同時期のアンケートと比較して高まったものは、家の人に、学校であったことや友だちのことをよく話している 2.4 ポイント↑である。

低くなったものは、テレビやゲームの時間は、親子で話し合ってきめている 6.4 ポイント↓である。

児童は、先生はわかりやすい授業を行ってくれていると回答しており、また学校の係などの役割をきちんと行おうとしている。また、交通ルールを守ることや宿題を行うなど、やるべき事を行おうとする意識が強い。しかし、授業に積極的に参加する態度にやや欠けていることや家庭でのテレビやゲーム（ユーチューブなどの鑑賞を含む）では、時間を決めていない家庭が昨年度 20.8%から 24.0%に増加するなど、家庭でのテレビやゲームの時間に関する約束をしない家庭が増加している。ゲーム等の時間が長くなり、生活習慣の乱れにつながる事例もあり、心配なところである。

●保護者アンケートより● 312人分 回収率98.7%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、お子さんは宿題を必ずやっている 96.0%・家庭では朝食を食べてから登校するなど、規則正しい生活をしている 93.0%・お子さんは学校に行くのを楽しみにしている 93.0%・教員は、児童がわかりやすい授業づくりの工夫をしている 90.0%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、お子さんは読書が好きである 46.0%・お子さんは、家庭学習の習慣が身につけてきている 60.0%・お子さんは家の手伝い等をすすんで行っている 62.0%である。

昨年同時期のアンケートと比較して高まったものは、お子さんは学校であったことや友だちのことをよく話す 4.6 ポイント↑・お子さんは宿題を必ずやっている 3.2 ポイント↑

低くなったものは、テレビやゲームの時間は親子で話し合って決めている

の質問にあまり決めていない・決めていないの回答をした割合が、5.7ポイント上昇している。また、本校の教育活動全般について満足しているが91.0%と昨年の95.6%を4.6ポイント下げた。

子どもが、家庭に帰り学校の様子をよく話す割合が増加している。宿題も必ずやっていると答えた割合が増加し、家庭では規則正しい生活をさせ、宿題を必ずやるように家庭で指導している様子が見える。

一方、宿題以外の家庭学習の習慣が身についてきているが60.0%（昨年より3.5ポイント↓）、テレビを見たりやゲームをする時間についてルールを決めていない家庭も5.7ポイント増加しており二極化がみられる。

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、学校行事や保護者会の削減や形態の変更を余儀なくされており、教育活動全般についての満足が減少していると考えられる。

●教職員アンケートより● 30人分 回収率100%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、児童は、学校に来るのを楽しみにしている100.0%・児童・保護者の相談には丁寧な対応を心がけている100.0%・学校は、ホームページやメール・学校だより等で、教育活動をわかりやすく伝えている97.0%・児童が学習内容で理解できないときは、個々に丁寧に指導している97.0%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、テレビやゲームの時間を家庭できちんと決めている37.0%・児童は家庭学習の習慣が身についてきている63.0%であった。

昨年同時期のアンケートと比較して高まったものは、児童は、教員や友だち、地域の方に進んであいさつしている57.8ポイント↑・児童は家庭学習の習慣が身についてきている16.8↑・児童は宿題をきちんとやってくる14.6ポイント↑・児童は、学習内容を理解している9.9↑である。

また、そう思うとの回答がまあそう思うとの回答から移動してきたもの（より強い肯定感への変化）として、児童は清掃・係活動にきちんと取り組み、自分の責任を果たしている19.2ポイント↑・児童が学習内容で理解できないときは、個々に丁寧に指導している26.8ポイント↑・児童・保護者の相談には丁寧な対応を心がけている33.8ポイント↑・学校は、ホームページやメール・学校だより等で、教育活動をわかりやすく伝えている36.9ポイント↑であった。

低くなったものは、児童は朝食を食べてから登校するなど、規則正しい生活をしている質問に対して、そう思うが4.5ポイント↓であった。

教職員から見て、児童は、学校に来ることを楽しみにしていると感じており、また、清掃・係活動にきちんと取り組み、自分の責任を果たしていると回答している割合が多い。

また、教職員として児童や保護者に対して丁寧な対応をし、かつ学校教育活動をわかりやすく伝えているとしている。学習面では、児童が学習内容で理解出来ないときは、個々に丁寧に指導しようとしている姿がうかがえる。

家庭では、テレビやゲームの時間についてきちんと決めているのは 37.0%と見ており、宿題以外の家庭学習(自主学習)の習慣は身につけているのは 63.0%としている。保護者アンケートの分析でも述べたが、家庭によって規則正しい生活や、ゲームの時間についてルールを決めているところと、子どもの自由に任せている家庭があり、その両方がそれぞれ割合を増やしている状況(いわゆる二極化)が見られる。

また、児童のあいさつについて、先生や友だち、地域の方にすすんで行っていることとの回答が 57.8 ポイントも増加した。あいさつについて、校長からの呼びかけもあり、児童が進んであいさつをするようになったとの回答がある。

今回の教職員の回答の特徴として、【まあそう思う】との回答であったものが、【そう思う】に強化された回答になったものがある。児童が学習内容で理解できないときは、個々に丁寧に指導している 26.8 ポイント↑・児童・保護者の相談には丁寧な対処を心がけている 33.8 ポイント↑・学校は、ホームページやメール・学校だより等で、教育活動をわかりやすく伝えている 36.9 ポイント↑である。これは、教職員の児童に対する丁寧な学習指導と、児童・保護者の相談に丁寧な対処を実践している日ごろの実態と配慮があるからだと思われる。

今後とも児童・保護者と教職員との信頼関係を築き、その信頼関係を基に教育活動をすすめることが大切である。